

瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックへの 小型揚陸艇部隊の新編に関する要請について

本日、令和5年1月20日（金）、国に令和5年春頃予定されている瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックへの小型揚陸艇部隊の新編に関して、横浜市長から防衛大臣への要請書を提出しました。

1 要請内容

「瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックへの小型揚陸艇部隊の新編について（要請）」

- （1）配備までのスケジュールとともに、部隊の新編の詳細について具体的な情報を、適時適切に提供すること。
- （2）特に、部隊の新編により基地の機能はどのように変わるのか説明を行うこと。
- （3）市民生活の安全・安心に影響を及ぼすことがないように万全の対策を講じること。

2 要請書の手交

（1）日付・場所

令和5年1月20日（金）
防衛省南関東防衛局（横浜第二合同庁舎内）

（2）面会者

い ち ち	ひ で ひろ	横浜市副市長
伊地知	英弘	
や ま の	と お る	南関東防衛局長
山野	徹	

3 防衛省コメント要旨

【山野 徹 南関東防衛局長】

- ・現在、米側に対し、情報提供を求めているところですので、得られた情報につきましては、速やかにお知らせします。
- ・本部隊の新編に際しては、地元の皆様の安心・安全に十分に配慮することは当然のことと認識しており、周辺地域への影響を最小限にとどめるよう、米側に求めてまいります。
- ・地元の皆様の御理解と御協力を頂けるよう、今後とも誠意をもって丁寧に対応していく考えです。

お問合せ先

政策局基地対策課長 白井 伸博 Tel 045-671-2057

政基第293号
令和5年1月20日

防衛大臣
浜田 靖一 様

横浜市長 山中 竹春



瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックへの小型揚陸艇部隊の新編について（要請）

令和5年1月12日、国から、日米安全保障協議委員会（2+2）において、在日米軍の態勢の最適化に向けた取組の一環として、瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックにおける米軍小型揚陸艇部隊が新編されると示されたことについて、連絡を受けました。

これまで本市は、基地の返還に向けて、基地が恒久化されかねない機能の強化・拡大がないよう、国に対して要請を続けてきました。瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックは、横浜港の中心に位置し、様々な機能の集積地に隣接しております。また、近隣の施設には、観光客を含め、多くの方々が集まることから、周辺住民はもとより来街者に対しても、不安を与えるような基地使用を行わないことを求めてきました。

国によれば、厳しさを増す安全保障環境に対応するため、日本における米軍の戦力態勢をより強化するためであり、国の安全保障上、必要であることは理解しますが、この度の新編は基地機能の強化であると考えられ、瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックの早期返還を求めている横浜市としては、遺憾と言わざるを得ません。

つきましては、瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックにおける米軍小型揚陸艇部隊の新編に対し、以下の項目を強く要求いたします。

- 1 配備までのスケジュールとともに、部隊の新編の詳細について具体的な情報を、適時適切に提供すること。
- 2 特に、部隊の新編により基地の機能はどのように変わるのか説明を行うこと。
- 3 市民生活の安全・安心に影響を及ぼすことがないよう万全の対策を講じること。